

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	RASC（ロボット支援下仙骨膿固定術）術後尿失禁患者の特徴
受付番号	1407
当院の研究責任者	平岡仁美（リハビリテーション技術科）
研究者等（所属）	平岡仁美、潁川和彦（リハビリテーション技術科）、森山真吾、小川一栄（泌尿器科）、片倉雅文（産婦人科）、小林郁美、渡貫佳恵（看護部）、田名見里恵、中野未来（検査技術科）
研究期間	2026年4月1日～2026年7月26日
調査データ対象期間	2024年12月1日～2025年12月31日
本研究の目的	骨盤底ケア外来では尿失禁や骨盤臓器脱でお困りの方に対して生活指導や骨盤底筋体操を実施している。患者の骨盤底筋の動きをエコーで確認しその人に合わせた運動処方を行っている。ロボット支援下仙骨膿固定術（RASC）術後の尿失禁発症率は33%程度である。エコーの動きについて前立腺術後患者の報告はあるが、女性でRASC術後の数値についての報告はない。そのため、RASC術後尿失禁のエコー評価を見直し、RASC術後尿失禁患者の特徴を把握することを目的とする。
対象となる患者さん	調査データ対象期間に RASC 術後尿失禁症状を呈し骨盤底ケア外来を受診された患者さん
利用する試料・情報	年齢、身長、体重、骨盤臓器脱の国際的な定量評価法（POP-Q）、便秘の有無、ウロフロメトリー、ストレステスト、出産歴、排便状況、骨盤臓器脱を自覚した時期、既往歴、エコー評価（速度・量・時間）、尿失禁の症状と生活への影響を評価する国際的な質問票（ICIQ-SF）など
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんの特定につながる個人情報は削除します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性がありますが、その際は患者さんを特定できない形で行います。
本研究の資金源（利益相反）	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
倫理審査等の経過	第 292 回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2026年3月6日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月 <input type="checkbox"/> 当該疾患についての当院受診開始日から1か月

お問合せ先	電話番号 048-773-1111 (代表) 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科
-------	--